

第2回 運営推進会議

2025年5月21日(水)

10:30~

デイサービス井福来

デイサービス井福来

居宅介護支援 いぶき

本会議の趣旨



利用者様(ご家族様)、市町村職員、地域住民の代表者等に対し、提供しているサービス内容等を明らかにし、地域に開かれたサービスとすることで、サービスの質の確保を図ることを目的としています。



定期的(半年に1回)に開催して、情報を共有したり、意見交換をしたりすることで、地域全体で介護サービスの質の向上を実現していく。

デイサービス井福来の現況



- ・認知症対応型通所介護(要介護認定者)
 - ・介護予防認知症対応型通所介護(要支援認定者)
- ※R6. 6. 1認可(旧ふじしろデイサービスからの移行)

1日のご利用定員 …… 12名
サービス提供時間 …… 9:15～16:30

〒411-0801 静岡県三島市谷田1601-20
TEL:055-957-1711 FAX:055-957-1713
<https://www.com-work.jp/ibuki/>

【姉妹事業所】

デイサービス若芝／デイサービス山風木
居宅介護支援事業所いぶき(ケアマネ)

関係事業所のご紹介



【関係事業所】

★居宅介護支援事業所いぶき(ケアマネージャーが常駐)

介護90名、予防及び総合事業30名を担当
ケアマネージャー4人体制で活動しています。
主任ケアマネが3名います。
ふじしろ時代とあわせて18年目の運営実績



平成24年1月1日

★デイサービス若芝(地域密着型通所介護)

→R6.2 認可更新 現在14年目に入りました
→芝本町(商店街)の一員として存在感

平成30年3月1日

★デイサービス山風木(認知症対応型通所介護)

→R6.3 認可更新 2期目(8年目)の運営に入っています
→認知症の利用者様に特化した事業所
→定員12名 ※井福来と同じ事業形態となります



デイサービス井福来の稼働状況



<ご利用実績>

ご登録人数: 33名

◆4月のご利用実績

平均稼働率 = 88%

※概ね定員(12名)は埋まっておりますが、お休みの関係で90%前後です

<ご利用予定(5月1日時点)>

月	火	水	木	金	土
12名	11名	12名	12名	11名	11名

事業所として目標としていること

- ⇒姉妹事業所やケアマネとの連携強化
- ⇒認知症に焦点をあてたサービス提供
- ⇒個別対応を中心としたサービス提供

介護度	人数
要支援	1名
要介護 1	17名
要介護 2	9名
要介護 3	2名
要介護 4	2名
要介護 5	2名

<1周年>

6月で開所から1年が経過します。

・・・季節の変化など初めての1年を経たことで気づきもありました

季節に応じた空間の活用方法もレベルアップしていきます！

お庭や畑の活動を生活の中へしっかりと組み込んでいきます！

生活の場として1日を安心して過ごせるようによりレベルアップ！

■体制 おかげさまで安定的な体制を維持できております

	デイサービス井福来	デイサービス若芝	デイサービス山風木
相談員	専任1名、兼務者1名	専任1名、兼務者1名	専任1名、兼務者1名
介護職	専任4名、兼務者1名	専任4名、兼務者1名	専任4名、兼務者1名
看護師	2名	1名	2名
ケアマネージャー	専任4名、兼務者2名	—	—

国家資格(介護福祉士)⇒取得支援！ ※介護職の国家資格保有率90%

認知症(BPSD)と向かい合う



<忘れてしまう！の先にあるのは個性です>

認知症という病で忘れてしまうことがあっても、その結果として不安になる！外に出かけたくなる！思い出したように怒り出す！etc というような行動は、その方の人生観や個性が要因になることが多いです。

取り組む姿勢

大人数での空間が苦手な方

和室などを活用して小集団で落ち着ける時間を作る

仕事ひとすじで生きてこられた方

時間が空くと居心地がわるくなってしまうので、何かをしている充実感を感じられるように役割や日課を持っていただく

学校の先生、お花の先生などをされてきた方

一緒にいる人たちに少しでも上手になってもらいたい。教えてあげたいという気持ちに応えながら、教えてあげるという誇りも感じてもらう

体が弱かったりして悲しい記憶が強く残ってしまっている方

悲しかった出来事への共感をしつつ、今そこにある喜び・楽しみも一緒に共有して共に喜ぶ

家族をととても大事にされてきた方

ご家族の名前なども共有させてもらい、家族の思い出をたくさん話してもらおう。一方で家族の心配をせずに安心してもらうようなアプローチもする

新しい認知症観



=これまで（～2025年）=

たくさんの方が認知症になる！大変だ！みんなあらかじめ心の準備を！
という啓蒙活動をしながら支援体制の構築を進めてきました。

【結果】世の中の多くの方が認知症という病を知ってくれた

=これから（2025年～）=

認知症基本法（認知症基本計画）

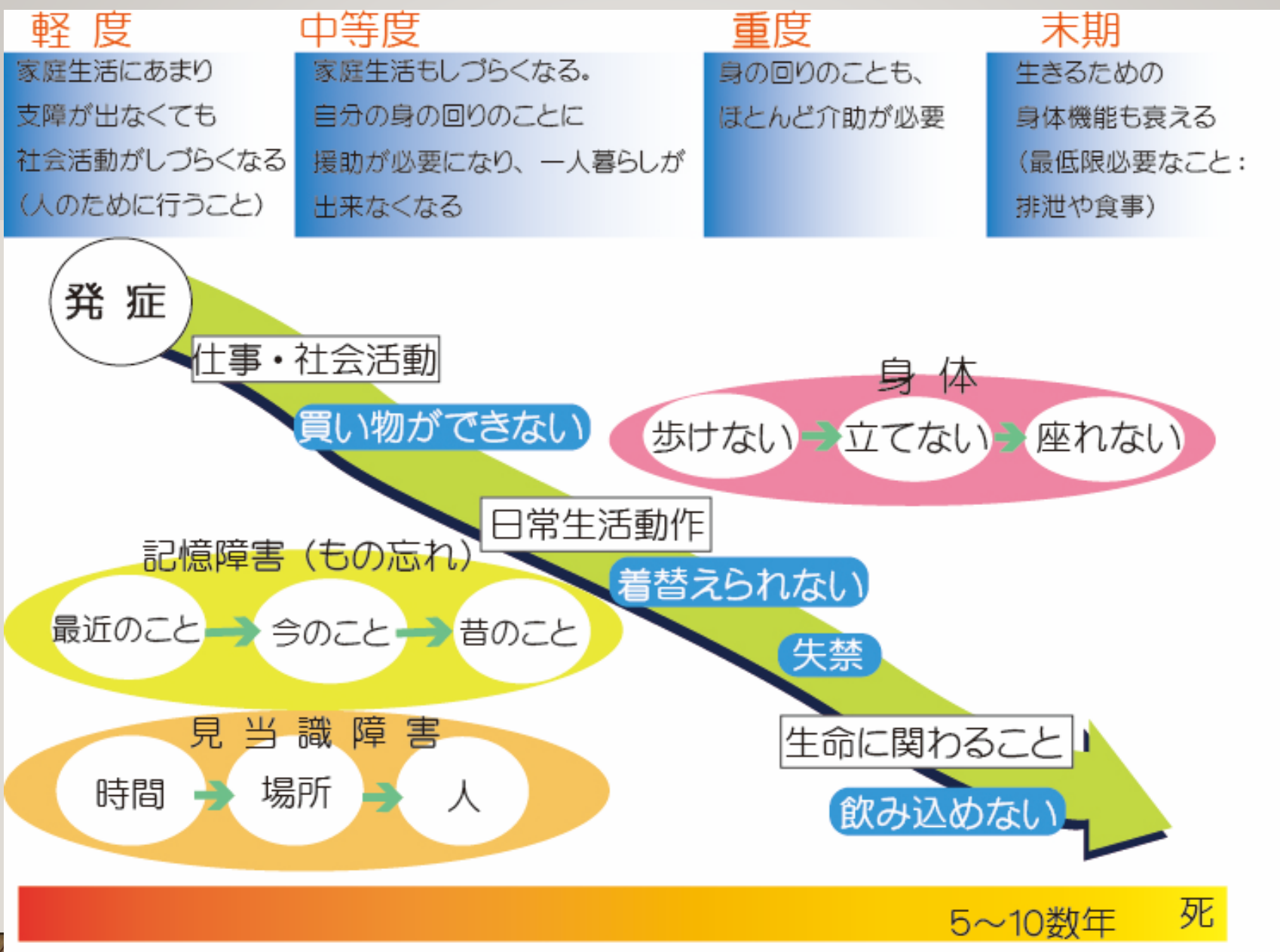
もっと正しく認知症を理解してもらおう！

学校教育／社会教育／専門職養成／認知症の方からの発信

<新しい認知症観>

「認知症になったら何もできなくなるのではなく、認知症になってからも、一人一人が個人としてできること・やりたいことがあり、住み慣れた地域で仲間等とつながりながら、希望を持って自分らしく暮らし続けることができる」

認知症の時期による困りごとの変化



意見交換



ご家族、地域が日々感じている様々なご意見を教えてください

- ・こんなことがあってうれしかった
- ・こんなときに満足感・納得感がある
- ・こんなことに困っている
- ・こんなときにどうしたらよいか戸惑っている
- ・こんなときに不安になる